

- 問1 日本において神道と仏教は歴史的に深い関係をもってきたが、それに関する説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。
- ア 神道は日本古来の宗教で、人々に深く信仰されていて、仏教から影響を受けたのは鎌倉時代以降になってからである。
 - イ 日本の仏教寺院は日本の風土に適した建築にしようと、神社建築を大幅にとりいれて、日本独特の建築様式となった。
 - ウ 仏教は古代に日本にもたらされたが、それ以前に日本には神々への信仰が存在していた。
 - エ 明治政府は神仏習合状態を変えようとして神仏分離を行い、神社と寺院は明確に分けられることになった。
 - オ 神仏習合状態は長く続いたので、今でも浄土宗や浄土真宗などのお寺では、天照大神をまつているところが多い。
- 問2 外国人用のガイドブックに神社についての説明を載せる場合に、その内容の一部とするのに適切なものを、次から2つ選びなさい。
- ア 「神社に参拝に行くと、途中にたいてい手水舎があります。多くの日本人はここで手や口をすすいでから参拝します。」
 - イ 「それぞれの神社には社務所があり、そこに住職と呼ばれる人がいますので、くわしい話を聞きたいときは、住職に相談するのがいいです。」
 - ウ 「社殿の正面にはふつう賽銭箱が置いてあります。その上にあるひも状のものは、動かすと鈴が鳴ってしまうので、手を触れないようにしましょう。」
 - エ 「神社の場合はたいてい入口に鳥居があります。鳥居から社殿まで続く道は参道と呼ばれています。」
 - オ 「一つの神社に、よく複数の社殿があります。その場合は一つの社殿の前でだけ拝礼するのがきまりです。」
- 問3 神社についての一般的説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。
- ア 神道は多神教ですが、1つの神社には1つの神しかまつられていません。
 - イ 古代に創建された代表的な神社としては、伊勢神宮や出雲大社があります。
 - ウ 人が死後に神としてまつられた例がいくつかありますが、よく知られているのに徳川家康をまつた日光東照宮があります。
 - エ 近代になって創建された神社もあり、代表的なものとして太宰府天満宮があります。
 - オ 神道は民族宗教なので、国外に神社が建てられたことはありません。
- 問4 神社の神職に話を聞く機会があった場合、あらかじめ持っていたほうがいい基礎知識として適切なものを、次から2つ選びなさい。
- ア 神職は男性しかないので、神社に務めている女性をみかけたら、それは巫女であると考えればいい。
 - イ それぞれの神社を管轄している神職は宮司と呼ばれている。
 - ウ 大きな神社であると宮司と呼ばれる人が複数いるので、だれがもっとも中心的な人かは尋ねないとわからない。
 - エ 神職はみな世襲であるので、神職をやっている人の父親も神職である。
 - オ 全体として神社の数に比べ、神職の数がずっと少なく、一人の神職が複数の神社を管理することがある。
- 問5 神道には祝詞と呼ばれるものがあるが、これについての説明として適切なものを、次から2つ選びなさい。
- ア 神社での例祭や地鎮祭などのときに、神職が読みあげるものである。
 - イ お祭りが終わったあとに、直会なおらいと呼ばれる飲食の場があるが、このときの来賓のスピーチのことである。
 - ウ 神社に参拝に来た人が、神社の前で神に向かって祈る言葉のことである。
 - エ 祝詞は参拝者や祈願者に対して唱えるものではなく、神に対して奏上されるものである。
 - オ 祝詞はどのようなときにも、読みあげられる内容はまったく同じである。

問6 日本の仏教に関して、適切な記述を次から2つ選びなさい。

- ア 日本には男性僧侶と女性僧侶とがいるが、現代においてはその数はほぼ同数である。
- イ 非常に困っているときに、「四苦八苦している」などと言う人がいるが、四苦八苦はもともと仏教に由来する言葉である。
- ウ 仏教には上座（部）仏教と大乘仏教の二大潮流があるが、日本が受容したのは大乘仏教の流れである。
- エ 日本の仏教は平安時代にできた宗派と鎌倉時代にできた宗派の二つに大別される。
- オ 現代日本では、葬儀は仏教の僧侶のみが関わっている。

問7 日本仏教の歴史に関して、適切な記述を次から2つ選びなさい

- ア 聖徳太子は仏教を重んじたので有名だが、歴代の天皇をみると仏教を信じた人が数多く存在する。
- イ 徳川家康は神道を高く評価し、仏教に対しては厳しい態度をとったので、江戸時代に仏教はかなり衰退した。
- ウ 近代以降現代に至るまで、日本の寺院はすべて檀家によって支えられている。
- エ 東アジアの仏教僧たちは、日本人の僧と同様に、現在では肉食し、妻帯するのが普通となっている。
- オ 21世紀にはいて、仏教式の葬式を行わない人が増える傾向にある。

問8 日本の仏教諸宗派の祖師の足跡を訪ねようと決意した人がいます。それぞれの人へのアドバイスとして適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 「最澄の足跡を訪ねようと決意したのです。」「それなら思い切って中国の天台山に登ったらどうですか。」「
- イ 「空海の足跡を訪ねようと決意したのです。」「それならまず京都にある東・西両本願寺に行ってみるのがいいです。」「
- ウ 「法然の足跡を訪ねようと決意したのです。」「それなら韓国の仏国寺を訪ねることは欠かせません。」「
- エ 「日蓮の足跡を訪ねようと決意したのです。」「それならまず熊野に行ってみるのがいいです。」「
- オ 「道元の足跡を訪ねようと決意したのです。」「それなら福井県の永平寺を訪ねることは欠かせません。」「

問9 近代にできた仏教系の教団は、伝統的な仏教宗派と関わりをもつものが多くある。その関わりについて説明したものと適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 創価学会は天台宗と深い関わりをもって形成され、毎年多くの信者が比叡山に参拝に行く。
- イ 立正佼成会は先祖供養を大事にするが、仏教経典のなかでは法華経をもっとも重視している。
- ウ 真如苑は創始者が真言宗と関わりが深く、密教的な儀礼が特徴的である。
- エ 霊友会は創始者が阿弥陀信仰をもっていただけ、信者は朝夕念仏を唱える。
- オ 妙智会は霊友会の分派であるので、浄土信仰が強くとくに道元を強く崇拝している。

問10 日本の大学で勉強する外国人留学生に「日本人の宗教は何か」と質問されました。適切な内容の答えを次から2つ選びなさい。

- ア 「日本人は、基本的に全員、神道の氏子（信者）と考えてよいでしょう。」「
- イ 「日本人の約7割は初詣に行くという統計がありますが、そういう人たちでも、信仰をもっているかと聞かれると、YESと答える人の方が少ないのです。」「
- ウ 「江戸時代から続く檀家制度というものがあって、いまでも日本人は必ずどこかの仏教寺院の信者になっています。」「
- エ 「日本人のほとんど無神論者です。これは世界でもめずらしいことです。」「
- オ 「神社に参拝し、お寺にも詣でるといような人が少なくありません。また世論調査の結果では、クリスチャンが人口に占める割合はたいてい1%未満になっています。」「

問 1 1 日本の年中行事や祭についての一般的な説明として適切なものを、次から 2 つ選びなさい。

- ア 日本は古くから太陽暦を取り入れていたので、日本の年中行事は、最初から太陽暦にしたがって行われてきた。
- イ 日本では、もともと春の祭りは農耕開始の時期に行われるものが多く、それに対して、秋の祭は収穫への感謝をあらわすものが多い。
- ウ 祭でよくみられる神輿は、神霊が一時的に鎮座する乗り物とされている。
- エ 国民の祝日である「海の日」や「敬老の日」も、本来は宗教的な儀式に由来している。
- オ 神楽と呼ばれる伝統芸能は、もともと仏教の儀式が民衆の間に広まったものである。

問 1 2 日本宗教に関する次の記述のうち適切なものを、次から 2 つ選びなさい。

- ア 修験道は山に神が宿するという山岳信仰をもとに、仏教をはじめとする様々な宗教的要素が混じりあってきた宗教である。
- イ 神社の中に寺院がある、または寺院の中に神社があるという形は、近代以降の新しい形態であり、伝統的には神社と寺院はまったく切り離されて存在していた。
- ウ 七福神の信仰は室町時代にできたとされ、その神々の中には、もともとインドの神様であったものも含まれている。
- エ 神が人々を救うために仏の姿をしてあらわれるという、「本地垂迹説」が中世に登場した。
- オ 神道では、仏教のように、像を彫ってまつということが、歴史上一度もなかった。

問 1 3 近代日本に数多く形成された新宗教について、適切な記述を次から 2 つ選びなさい。

- ア 信者数が百万人を超える教団もあるが、その中でももっとも多く信者がいるのは創価学会である。
- イ 大本や生長の家は、創始者が禅に深い関心をもっていたので、中心的儀礼に座禅が取り込まれている。
- ウ 天理教は 19 世紀に中山みきという女性によって創始された教団で、奈良県に本部がある。
- エ 黒住教は第二次大戦後、中国地方で設立され、西日本に急速に広まった神道系の教団で、教員をしていた黒住宗忠が教祖である。
- オ 金光教は幕末に設立された教団で、教祖は浄土信仰をもっていたので、信者は「南無妙法蓮華経」と唱える。

問 1 4 現代日本における宗教教育の現状について適切に記述してあるものを、次から 2 つ選びなさい。

- ア 宗教系の学校としては、神道系、仏教系、キリスト教系、新宗教系があるが、そのうちもっとも多いのは、キリスト教系である。
- イ 宗教系の中学校や高校は、戦前は仏教系の学校がもっとも多かったが、戦後は神道系がもっとも多い。
- ウ 戦後になると宗教系の中学校や高校では、宗教の情操的教育は認められるようになったが、宗教儀礼などに生徒を参加させてはならないことになっている。
- エ 初等及び中等教育において日本神話について扱うことは、戦前は義務であったが、戦後は逆に禁止されている。
- オ 仏教系の学校では生徒にも座禅をさせているところがあるが、こうした儀礼や実践は生徒に強制しているのでなければ認められている。

問 1 5 宗教と関係がある世界遺産への国内観光ツアーを計画している人が、次のようなプランを立てた。適切なものを 2 つ選びなさい。

- ア 古代に建てられた神社建築を見学しようと思い、「日光東照宮と関連施設めぐりツアー」を計画した。
- イ 源氏一族と神社との深い関わりについて学ぶために、「巖島神社と関連施設めぐりツアー」を計画した。
- ウ キリシタン文化を知るために、「紀伊山地の霊場と参詣道をめぐるツアー」を計画した。
- エ 天台宗、真言宗、浄土真宗など、日本の主な仏教宗派の寺院を見学しようと思い、「古都京都の文化財をめぐりツアー」を計画した。
- オ 古い仏教寺院や神社、そして大仏などを見学しようと思い、「古都奈良の文化財のツアー」を計画した。

問16 戦後日本における国家と宗教の関係について適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 憲法により信教自由が保障されているので、従来にはなかった新しい宗教名を名乗って宗教活動をするのも自由である。
- イ オウム真理教は地下鉄サリン事件などを起こし、宗教法人を解散させられたが、元信者たちが宗教活動を継続することは法的に可能である。
- ウ 1995年に宗教法人法が改正されたが、これにより以後は新しい宗教法人をつくることはできなくなった。
- エ いったん文部科学大臣に届け出た宗教法人名は、社会的な混乱を招くので変えることができない。
- オ 国家公務員は特定の宗教を信仰することはできない。

問17 次はそれぞれの宗教の創始者に由来するとされている言葉である。これらのうちブッダの言葉とされているものを2つ選びなさい。

- ア 「天上天下、唯我独尊。」
- イ 「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」
- ウ 「すべての現象はうつろいゆく。おこたらずに精進せよ。」
- エ 「汝らに禁じ給うた食べ物といえば、死肉、血、豚の肉、…」
- オ 「人の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」

問18 仏教はアジア各地に広まったが、それぞれの地域でさまざまな展開の様相を見せてきた。これに関して次の記述のうち適切なものを2つ選びなさい。

- ア マレーシアにはムスリム（イスラーム教徒）とほぼ同じくらいの数の仏教徒がいて、多くの寺院がある。
- イ カンボジアの仏教僧は、共産主義のポルポト政権時代でも特別に保護されていた。
- ウ インドにはネオブディスト（新仏教徒）と呼ばれる人々が数百万人いるとされる。
- エ スリランカには紀元前に仏教が伝わっていたとされ、今日でも人口の過半数は仏教を信じている。
- オ ガンダーラの仏教美術として残されているものを見ると、絵画が中心で仏像はない。

問19 仏教の展開について、適切な記述を次から2つ選びなさい。

- ア タイ仏教は上座（上座部）仏教であるが、現代のタイ仏教は観光仏教が主体になっている。
- イ 紀元前後に大乘仏教と呼ばれる新しい仏教の流れが生じたが、これはキリスト教の強い影響を受けているというのが、学界での通説となっている。
- ウ 最近ではミャンマー人やタイ人が日本に居住する例が増えたが、こうした人たちは近くの日本の寺院の檀家になることが多い。
- エ 法華経は大乘仏教の思想を示す代表的な経典の一つであるが、この経典の編纂者については不明である。
- オ ダライ・ラマ信仰はチベット仏教と呼ばれる流れの中で生まれた。

問20 中国の宗教史において、仏教は重要な位置を占めるが、中国仏教についての記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 文化大革命で多くの仏教寺院が破壊されたので、現在の中国では、仏教寺院があるのは洛陽と西安とラサだけである。
- イ 中国の清朝時代には儒教が重視されたので、チベット仏教が厳しく弾圧された。
- ウ 大乘仏教の重要な経典のひとつである『法華経』は、中国においても広く受け入れられた。
- エ 道教の創始者である老子はインドから伝わった仏教を激しく批判し、たびたび論戦を戦わせた。
- オ 中国で展開した禅宗のひとつである臨済宗の臨済とは、中国の僧侶の名前である。

問2 1 現代世界のキリスト教に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- ア ヨーロッパには、プロテスタントに含められる教派を国教と定めている国が複数ある。
- イ カトリックでもプロテスタントの各教派でも、マリアは「神の母」として、崇拝の対象になっている。
- ウ カトリック教会に属する教会では、世界中どこでもミサにはラテン語が使用されている。
- エ カトリックとプロテスタントの信者数を合わせても、ムスリムの数に及ばない。
- オ キリスト教において、クリスマスとともに重要な祭として復活祭がある。

問2 2 現在の世界各地のキリスト教の信者分布に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- ア 韓国におけるキリスト教徒は、カトリックとプロテスタントを合わせ、全人口の2～3割程度である。
- イ 現代中国においては、キリスト教会の活動は認められていないので、キリスト教の信者はいない。
- ウ 中近東はイスラーム圏であり、とくにアラビア半島に位置する国にはキリスト教徒は存在しない。
- エ インドにおけるキリスト教徒の人口は、ムスリムより少ない。
- オ アメリカ合衆国のキリスト教徒の大半はカトリック教徒である。

問2 3 世界各地のキリスト教会に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- ア アフリカ諸国には、宗教人口においてキリスト教の信者が多数派を占める国家はない。
- イ 北欧では、プロテスタント教会が伝統的にもっとも強い影響力を持っている。
- ウ 南米は社会主義政権が多く、全体としてカトリック教会の影響力は極めて弱い。
- エ 中国にはじめてキリスト教が伝えられたのは、日本にはじめて伝えられたときよりもずっと早い。
- オ ロシア正教会は、共産主義政権下でも人びとの支持があったため、自由な活動が許され、活発な布教を行っていた。

問2 4 現代日本のキリスト教に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- ア 現在日本にあるプロテスタント教派の本格的な活動は明治以降である。
- イ 日本におけるキリスト教徒は戦後しだいに増え、現在では全人口の1割近くに達している。
- ウ 東京の神田にある有名な東京復活大聖堂（通称ニコライ堂）は、幕末にロシアからやって来たニコライにちなむ教会で、ロシア正教に属する。
- エ 日本人でカトリックの修道女になる人はいるが、プロテスタントの牧師になった女性はいない。
- オ 日本にあるキリスト教系の学校の数は、カトリック系とプロテスタント系を合わせても仏教系の学校の数に及ばない。

問2 5 外国から来た留学生が、自分が住んでいた国やその周囲の国のキリスト教の状況について発言したが、自分の国や周囲の国の宗教状況を的確に理解しているとみなせるものを、次から2つ選びなさい。

- ア ロシアからの留学生が、「私の国は以前はマルクス主義思想の影響下にあったので、キリスト教会は今でもほとんど活動できないんじゃないですか」と発言した。
- イ 韓国からの留学生が、「私の国では仏教や儒教の伝統が強いため、キリスト教を信じる人は、日本と同じくらい少ないです」と発言した。
- ウ 中央アフリカに位置するコンゴから来た留学生が、「サハラ以南のアフリカ諸国には、ヨーロッパ人がキリスト教を持ち込みましたが、現地の人たちはキリスト教なんか信じません」と発言した。
- エ ブラジルから来た留学生が、「南米のキリスト教はカトリックが主流ですが、最近ではプロテスタントも増えていきますね」と発言した。
- オ フィリピンからの留学生が、「日本のキリスト教信者は、仏教徒よりずっと少ないらしいですが、フィリピンでは9割くらいの方がキリスト教を信じてますよ」と発言した。

問26 キリスト教の聖職者に関する記述として、適切なものを次から2つ選びなさい。

- ア プロテスタント教会では、聖職者はすべて神父と呼ぶのが慣習になっている。
- イ カトリック教会においては、ローマ教皇は全信徒の選挙で選ばれる。
- ウ ロシア正教会の聖職者のなかには、結婚を認められた者がいる。
- エ 英国国教会の司祭は世襲であり、かつすべて男性である。
- オ カトリック教会において「シスター」と一般に呼ばれている女性は、修道女のことである。

問27 一般にイスラームの「六信五行」と呼ばれているものに関して、適切な説明を次から2つ選びなさい。

- ア 断食は成人男女の義務となっており、ラマダーン月になると、一ヶ月間、日の出から日没まで断食を行う。
- イ 厳格な一神教であるイスラームは天使や悪魔（サタン）という存在を認めず、こうした対象は六信に含まれていない。
- ウ 飲酒の禁止は五行の一つであるので、ムスリムは基本的に酒を飲まない。
- エ 聖典（啓典）は六信の一つであるが、コーラン（クルアーン）の他に、旧約聖書や新約聖書の一部も啓典に含まれている。
- オ 裁判における偽証の禁止は五行の一つであり、偽証した人は神がただちに罰すると信じられている。

問28 イスラームは大きくスンナ（スンニ）派とシーア派に二分されるが、両派に関する説明として正しいものを次から2つ選びなさい。

- ア スンナ派が多数派になるが、シーア派の人口もムスリム全体の3分の1程度に達する。
- イ スンナ派とシーア派の分裂は、イスラームが成立して一世紀もたたないうちに起こったが、六信五行を守る点では、両派は基本的に共通している。
- ウ スンナ派とシーア派は、アッラーが唯一神であるかどうかをめぐる長い争いを繰り返し、やがて分裂するに至った。
- エ シーア派は少数派であるが、それがさらに細かくいくつかの派に分かれていった。
- オ イラン・イスラーム革命を起こしたホメイニは、スンナ派に属しており、かつスンナ派を改革しようとした人である。

問29 「モスクと仏教寺院とはどう違うのか？」と質問されたときの回答として、適切なものを次から2つ選びなさい。

- ア 寺院には仏像がまつてあるが、モスクにはアッラーをまつる立派な祭壇がある。
- イ 多くのモスクにはミナレットと呼ばれる尖塔があるので、それが一つの目印になる。
- ウ 寺院には僧侶が住んでいるが、モスクにはラビが住んでいる。
- エ 寺院にはいつ行ってもいいが、モスクに行けるのは金曜日に限られる。
- オ モスクには、メッカの方角を示すミフラーブ（^{へまがん}壁龕）があるのが特徴的である。

問30 イスラーム教徒（ムスリム）の友人や同僚を食事に招くことになった場合、気をつけた方がいいのは次のうちどれか。適切なものを2つ選びなさい。

- ア 肉類を出す場合は、豚肉の入っていない料理を出す。
- イ 肉類を出す場合は、牛肉の入っていない料理を出す。
- ウ とにかく肉類が一切入っていないように注意する。
- エ 料理の中にカニやエビなど甲殻類が一切入っていないように注意する。
- オ アルコール以外の飲み物を出すようにする。

問3 1 小学生にイスラームの預言者であるムハンマドについて分かりやすく紹介するときに語る内容として、適切なものを次から2つ選びなさい。

- ア お父さんは大工であったので、ムハンマド自身も工夫して物を作ることの大切さを説きました。
- イ 周りには多くの神々を信じる人がいましたが、ムハンマド自身はただ一つの神を信じるような教えを説きました。
- ウ 大金持ちの家に生まれ、自分用の宮殿をもつような少年時代を過ごしたので、お金の大切さを説きました。
- エ 早くに両親を亡くしたこともあって、孤児への配慮を示すような教えを説きました。
- オ 船乗りであったので、人生においては風向きを知るとともに、勇敢さがもつとも大事だと説きました。

問3 2 イスラーム暦のラマダン（ラマダーン）月についての説明として、正しいものを次から2つ選びなさい。

- ア ラマダン月はイスラーム暦の9月であり、日本など北半球の国でいうと秋にあたる。
- イ ラマダン月の間は、通常行っているような礼拝は行なわなくてよい。
- ウ ラマダン月の断食とは、日の出から日没まで、水は命にかかわるので飲んでもいいが、それ以外の飲食を避けることである。
- エ ラマダン月は預言者ムハンマドが初めて啓示を受けた月とされていて、神聖な月とされている。
- オ ラマダン月の日没後の食事はいつもよりご馳走が用意され、豊かな者は貧しい者に食事を提供する慣習がある。

問3 3 イスラームについての概説として述べるのに適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア イスラーム教徒は成立当初から今日まで、ユダヤ教徒やキリスト教徒とずっと激しい対立を続けてきた。
- イ メッカにあるカアバ神殿は、ムハンマドと彼の最初の信者たちが協力することによって建設されたものである。
- ウ 現在、イスラーム教徒の数は12～13億人前後と推定する研究者が多い。
- エ インドネシアは人口の大多数がイスラーム教徒である。
- オ イスラーム教徒は預言者ムハンマドを信仰上の指導者として崇拝しており、モスクではその姿をさまざまに描いた絵がみられる。

問3 4 コーラン（クルアーン）に書かれている内容について正しいものを、次から2つ選びなさい。

- ア コーランにはモーセやイエス・キリストに関して述べられた箇所はまったくない。
- イ コーランには宗教的な戒律の他に、結婚や相続に関する規範も示されている。
- ウ コーランは4人の妻をもつことを認めているが、離婚は認めていない。
- エ コーランには、毎日の生活における宗教的戒律が中心的に記されており、来世（天国や地獄）についての説明はない。
- オ コーランに記載された内容は、ムハンマドが受けた啓示の時間的な順番どおりに並べられているのではない。

問3 5 世界には多くの多神教があるが、それに関する記述として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア ヒンドゥー教はインドの約8割の人が信じていると言われるが、よく知られた神にビシュヌ神やシヴァ神がいる。
- イ 道教には多くの神がいるが、なかでも中心的な神として知られるのが天照大神である。
- ウ 古代ギリシアも多神教であったが、そのなかでも有名なのが太陽神ラーである。
- エ 古代ローマの宗教は、キリスト教が広まる前は多神教であり、そこでもっとも恐れられていたのが、冥界を支配する神オシリスである。
- オ 神道では国作り（国生み）をしたとされる神々がいるが、それはイザナギとイザナミである。

問36 ヒンドゥー教の輪廻思想について5人の学生が意見を述べている。的確に理解していると考えられるものを次から2つ選びなさい。

- ア 「輪廻というのは、ある人が死んで何年かたったら、また人間に生まれて同じような人生を送るということだね。」
- イ 「私は、今年米寿を迎えたおじいさんにそっくりだと言われるんだけど、これが輪廻ですね。」
- ウ 「生きているときに何をしたかによって、次の生を受けたときにどんな状態になるかが決まるというふうに考えますね。」
- エ 「今人間であっても、前世では動物だった可能性もあるというふうに考えますね。」
- オ 「輪廻というのは、苦しみと喜びが交互にやってくるという考えですね。」

問37 国際会議のパーティで会話しているとき、相手がヒンドゥー教徒であると判断するのが適切な発言は次のどれか。2つ選びなさい。

- ア 「私はネパールに生まれたのですが、小さいときからシヴァ神を信仰していました。」
- イ 「私はシンガポールで育ったのですが、旧正月に爆竹を鳴らすのが楽しみでした。」
- ウ 「このパーティはお寿司が多いので、豚肉がタブーとなっている私たちにとっては大変ありがたいです。」
- エ 「私はバラモン階級ですが、このパーティの料理では牛肉を使ってないので、私たちのことを配慮してくれたのだと、うれしく思います。」
- オ 「パーティが始まる前に会場の外に出て、われわれの信仰の中心的な崇拝対象である北斗七星に向かってお祈りしてきました。」

問38 ユダヤ教の戒律に関して適切に記述しているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 日曜日が安息日になっており、この日には羊を殺して神に捧げることになっている。
- イ 金曜日の夕方から土曜日の夕方にかけてが安息日であり、この日は仕事をしてはいけないことになっている。
- ウ ユダヤ教の戒律はイスラエル国内に住んでいるときに適用されるので、外国に行った場合は守らなくてもいい。
- エ 鶏肉を食べることは禁じられているので、戒律を守るユダヤ人は日本に来ててもフライドチキンを食べない。
- オ ヒレやウロコのない魚は食べてはいけないので、戒律を守るユダヤ人は日本に来ててもウナギのかば焼きを食べない。

問39 「カルト問題」に含まれることがらと判断するのに適切な事例を、次から2つ選びなさい。

- ア 実際は宗教団体であるのに、そうでないと偽って多くの大学で学生を会合に誘うような場合。
- イ 高齢者に対し墓地購入の勧誘の電話が、断っても断ってもかかってくるような場合。
- ウ 入会した信者に高額なお布施あるいは献金を強要し、借金までも迫るような場合。
- エ 若い女性を対象に星占いの本を街頭で配って、その本の著者の宣伝をするような場合。
- オ 大学祭のときに、宗教団体が主催するイベントであることを明記したパンフレットを配るような場合。

問40 宗教と関係がある世界遺産への国外観光ツアーを計画している人が、次のようなプランを立てた。適切なものはどれか、2つ選びなさい。

- ア ギリシア正教の修道士の生活に関心ある人を対象に、「聖山アトスやメテオラの修道院群をめぐるツアー」を計画した。
- イ 映画「ダ・ヴィンチ・コード」を見て、カトリックに関心をもった人を対象に、「ヴァチカン市国とローマ市内をめぐるツアー」を計画した。
- ウ ユダヤ教に関心がある人を対象に、「ケルンの大聖堂とその周辺をめぐるツアー」を計画した。
- エ 東南アジアのイスラームに関心がある人を対象に、カンボジアの「アンコールの遺跡群のツアー」を計画した。
- オ 宗教改革以後のプロテスタント教会に関心がある人を対象に、フランスの「シャルトル大聖堂とその周辺をめぐるツアー」を計画した。

- 問4 1 宗教文化の問題が関わってきそうな事業を国外でやることになった会社が、大学でその国の主たる宗教に関することを学んだ社員を派遣するとして、まずは妥当と考えられるものを次から2つ選びなさい。
- ア 南アフリカに社員を派遣するとき、学生時代にイスラームについて学んだ社員を選ぶ。
 - イ パキスタンに社員を派遣するとき、学生時代にキリスト教について学んだ社員を選ぶ。
 - ウ イスラエルに社員を派遣するとき、学生時代にユダヤ教について学んだ社員を選ぶ。
 - エ エジプトに社員を派遣するとき、学生時代にイスラームについて学んだ社員を選ぶ。
 - オ ミャンマーに社員を派遣するとき、学生時代にヒンドゥー教について学んだ社員を選ぶ。
- 問4 2 いろいろな国から来た人が集まるパーティにおいて、その国でしばしば起こっている宗教関連の事件などを話題にすると、相手が不快になるかもしれない。それを避けようと配慮した場合、適切なものを次から2つ選びなさい。
- ア インドから来た人には、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の対立がからまるテロについて触れない。
 - イ イタリアから来た人には、パレスチナ問題に関係した自爆テロのことを話題にしない。
 - ウ シンガポールから来た人には、ブルカの着用を禁じた法律については話題にしない。
 - エ アメリカから来た人には、一部のキリスト教原理主義者とと呼ばれる人たちの過激な行動を話題にしない。
 - オ ニューージーランドから来た人には、アルカイダによるテロのことを話題にしない。
- 問4 3 世界の各宗教において聖地とされているものが数多くあるが、それに関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。
- ア 仏教の聖地の一つであるブッダガヤは、ブッダが生まれたとされる場所である。
 - イ エルサレムはユダヤ教、キリスト教、イスラームの3つの宗教の聖地とされている。
 - ウ 四国遍路の札所の数は88ヶ寺である。
 - エ メッカへの巡礼はイスラーム教徒以外でも自由にできる。
 - オ スペインのサンチャゴ・デ・コンポステーラは、マリアが出現したとして有名になり、やがてキリスト教徒の聖地となった。
- 問4 4 各宗教にはそれを象徴するような図形が用いられることがある。これに関して適切な記述を、次から2つ選びなさい。
- ア ユダヤ教を象徴するのは「ダビデの星」と呼ばれる三角形を2つ組み合わせたものである。
 - イ キリスト教を象徴する十字架は、縦と横の直線形のものがくみあわさった単純な十字の形だけでなく、装飾があったり、小さな十字が加わったものなど、より複雑な十字架の様式もある。
 - ウ ヒンドゥー教を象徴しているのは、五つの角をもつ星型（五芒星）である。
 - エ イスラームを象徴しているのは、太陽をかたどった赤い円である。
 - オ 密教を象徴しているのは、ブッダが悟りをひらいたとき、その場所にあった菩提樹の葉をかたどったものである。
- 問4 5 宗教建築に関心があるひとから、宗教と建築のかかわりについて質問を受けた場合、適切な回答を次から2つ選びなさい。
- ア 「ユダヤ教の信者が集まる会堂は、シナゴグと呼ばれています。」
 - イ 「道教の寺院は道観と呼ばれますが、これは孔子廟とも呼ばれ、中国各地にあります。」
 - ウ 「日本人の観光客もよく訪れる上海の玉仏寺は、中国の上座仏教の代表的な建築です。」
 - エ 「インドのナーランダ寺院の遺跡は古代ヒンドゥー教を代表する遺跡ですが、中世以来、イスラームのモスクとして使用されるようになりました。」
 - オ 「ゴシック建築のキリスト教会は中世に広がった建築様式ですが、イギリス、フランス、ドイツなどヨーロッパ各地に残っています。」

問46 宗教社会学において行われてきた研究について適切に記述してあるものを、次から2つ選びなさい。

- ア 宗教社会学は、宗教を研究対象とするとともに、ウェーバーやデュルケムなどの理論も積極的に取り入れてきた。
- イ 宗教社会学は教団の研究や宗教運動の研究が中心であったので、心理学や人類学の研究には関心をはらってこなかった。
- ウ 宗教社会学は今でも神学の影響を強く受けているので、神の存在を否定するような人は宗教社会学者にはいない。
- エ 20世紀初頭に、宗教社会学を確立させた代表的な学者として、ルドルフ・オットーとミルチャ・エリアーデがあげられる。
- オ 日本の宗教社会学においては、新宗教も研究対象にされてきた。

問47 日本で宗教学を研究する場合に、ほとんどの研究者に前提とされていることとして、適切なものを次から2つ選びなさい。

- ア 宗教学の研究を行うには、何か特定の信仰をもっていなければならない。
- イ 宗教学の研究を行うには、何か特定の信仰をもっていないといけない。
- ウ 宗教学は正しい宗教と誤った宗教の判別を行うことを最終目的としている。
- エ 宗教学者の間で、宗教の定義として広く承認されたものはまだない。
- オ 宗教学はさまざまな宗教を比較するという方法を重視してきた。

問48 宗教や宗教習俗などに対する日本の宗教学の基本的な立場として適切な記述を、次から2つ選びなさい。

- ア 宗教学の観点からは、初詣、灯籠流し、墓参りなどの習俗を宗教的行為に含めることはない。
- イ 新宗教と呼ばれる教団の形成は、外国にはほとんど見られない近代日本に特有の現象とされている。
- ウ どんな宗教も必ずそれを始めた教祖がいるというふうに前提している。
- エ 宗教と呪術という区分をすることがあるが、実際には両者を明確に分けるのは困難と考えている。
- オ 病気治し、あるいは信仰治療といった行為は、現代の文明社会においても広く見出されると考えている。

問49 宗教の研究は関連する学問分野の研究者たちの考え方からも影響を受けてきている。こうした研究者たちに
関する適切な記述となっているものを、次から2つ選びなさい。

- ア 精神分析学者のジクムント・フロイトは、宗教を一種の神経症とみなす解釈を提起した。
- イ イギリスの人類学者タイラーは構造主義を確立し、諸宗教の背景にある共通の要素について考察した。
- ウ 神話学者、言語学者として知られるマックス・ミュラーは、古代人の天体や自然現象に対する解釈が、神話に反映していると考えた。
- エ 社会学者のタルコット・パーソンズは、一神教の広まりに注目し、東洋宗教に一神教が与えた影響を生涯の研究テーマとした。
- オ 心理学者のウィリアム・ジェイムズは、反宗教的な立場から神は妄想に過ぎないという見解を出した。

問50 イギリスのフレーザーという人類学者は、呪術に大きく2種類あるとして、そのひとつを類感呪術（模倣呪術）と名づけた。その例として適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ア 賢い子どもになるようにと、両親が近所のお地蔵さんにお祈りする。
- イ テニスの試合に勝つようにと、皆で寄せ書きしたものを同級生が選手になった人に渡す。
- ウ 丑の刻参りをして、危害を加えたい相手をわら人形にみたくて、五寸釘を打ち込む。
- エ たまたまヒゲをそり忘れた日にホームランを打った野球選手が、次の日にもヒゲをそらずに試合に出てホームランを狙うこと。
- オ パワースポットとされた場所に行き、そこの石に触って元気を得ようとする事。